

第74回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第1日目 10月20日(水)

1回戦	石巻市民球場	2時間	0分		打安点盗犠四三残失併	
盛岡大附	0 1 0	6 0 0	0 2	9	【盛】 35 12 9 5 1 8 4 11 0 0	
学法石川	1 0 0	1 0 0	0 0	2	【学】 33 10 2 1 1 0 1 8 2 1	
(球) 太田博昭 (一) 小松宗夫 (二) 沼辺力也 (三) 佐藤 圭					▽本塁打	なし
【盛】	小野寺, 川中	—	吉田		▽三塁打	なし
【学】	遠藤, 二上	—	保科		▽二塁打	なし (盛) 保科 (学)
▽暴投 なし					▽捕逸 なし	

【評】

先制したのは1回裏に2本の安打を集めて1点を挙げた学法石川。盛大附属も2回表に1点を返しすぐに同点とした。その後はランナーを出しながらも両投手とも要所を締め、無得点が続いた。

試合が動いたのは4回。4四死球と2本の内野安打を含む4安打を絡めて6点を挙げた盛大附属が試合の主導権を握り、学法石川の反撃を4回裏の1点に抑えて、さらに8回表に2つの敵失と2本の安打で2点を追加し7点差をつけてコールドゲームを成立させて勝利を手にした。

1回戦	仙台市民球場	1時間	17分		打安点盗犠四三残失併	
大曲工業	0 0 0	0 0	0	0	【大】 19 5 0 0 1 1 6 6 0 1	
東奥義塾	4 5 0	0 1x		10	【東】 23 11 10 1 1 5 3 5 0 0	
(球) 雁部博昭 (一) 駒田代志昭 (二) 黒沼 修 (三) 新田健治					▽本塁打	なし
【大】	長淵星, 石山伶	—	深浦		▽三塁打	後藤(東)、高嶋(東)、中田歩(東)
【東】	中田歩, 木村	—	後藤		▽二塁打	なし (大) 今泉、後藤 (東)
▽暴投 なし					▽捕逸 なし	

【評】

仙台市民球場の開幕戦はライトからレフト方向への強風の中、初回、大曲工業は先頭打者の石山来偉の安打で出塁、犠打で2塁へ進塁、3番の加藤光陽の安打で1死1・3塁とチャンスを迎えたが後続が打ち取られ無得点に終わった。

その裏、東奥義塾は2死から3番角田楓斗の安打、4番今泉温友の2塁打、次打者の四球で2死満塁と攻め、6番工藤有寿の内安打で先制点を挙げ、7番後藤天満の走者一掃の3塁打で3点を追加した。その後2回にも5点を追加、5回裏に1点を加え5回コールド10対0で2回戦に進出した。

2回戦	石巻市民球場	2時間	20分		打安点盗犠四三残失併	
大館桂桜	2 0 2	0 0 0	0 0 2	6	【大】 37 13 6 0 2 2 3 8 4 1	
聖和学園	0 0 1	2 0 0	0 1 0	4	【聖】 32 7 4 1 3 4 8 8 1 0	
(球) 布田秀斗 (一) 佐藤拓哉 (二) 西城皇祐 (三) 小倉貴仁					▽本塁打	なし
【大】	福田	—	小林廉		▽三塁打	柳谷(大)、船岡(聖)
【聖】	阿部航天①	—	沼田		▽二塁打	柳谷、福田 (大) なし (聖)
▽暴投 阿部航天①(聖)1					▽捕逸 なし	

【評】

ライトからレフト方向に強風が吹く中での試合は、大館桂桜が粘る聖和学園を振り切った。

大館桂桜は初回、柳谷の3塁打で2点を先制、さらに3回にも4・5・6番の3連打で2点を追加し主導権を握った。

聖和学園は1点差の8回、船岡の3塁打を足掛かりに同点に追いつく粘りを見せたが9回に勝ち越しを許した。

大館桂桜の先発、福田は粘りの投球で148球完投。

2回戦	仙台市民球場	1時間	45分		打安点盗犠四三残失併	
八工大	2 0 0	2 3 0	0	7	【八】 27 9 6 1 4 3 3 6 0 0	
酒田南	0 0 0	0 0 0	0	0	【酒】 24 3 0 0 0 2 8 5 2 0	
(球) 水戸恭平 (一) 三浦 徹 (二) 菅原 幸 (三) 藤村一也					▽本塁打	なし
【八】	廣野	—	葛西		▽三塁打	館(八)
【酒】	田村、阿部勇	—	神原		▽二塁打	なし (八) 須藤、田村 (酒)
▽暴投 田村(酒)					▽捕逸 神原(酒)	

【評】

八工大は右腕廣野、酒田南は右腕田村の両エースの先発。八工大は1回表二死から3番砂の中前打と4番葛西の遊撃内野安打で1・2塁とし5番館の四球が暴投になる間に砂がホームインし先制した。さらに6番工藤の投手横へのバントヒットで2点目を加えた。続く4回にも館の右中間3塁打と工藤の四球、7番中田の3塁へのバントヒットで3点目、8番廣野の犠打と9番田中の犠打で4点目を奪い試合の主導権を握った。5回にはショートフライの落球と3塁手のエラーを足掛かりに葛西の中前打と館の右前打に工藤、中田の犠打を2つ絡めて3点を奪い、酒田南を突き放した。

八工大の廣野は伸びのある直球を主体に8三振を奪う力投で、3塁を踏ませぬ散発3安打、7回コールド完封勝利で準々決勝進出を決めた。

第74回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第1日目 10月20日(水)

2回戦 石巻市民球場 2時間 20分
 大館桂桜 2 0 2 0 0 0 0 0 2 6
 聖和学園 0 0 1 2 0 0 0 1 0 4

【大】 布田秀斗 (一) 佐藤拓哉 (二) 西城皇祐 (三) 小倉貴仁
 【大】 福田 二 小林廉
 【聖】 阿部航大① 二 沼田
 ▽暴投 阿部航大①(聖)1 ▽捕逸 なし
 ▽本塁打 なし
 ▽三塁打 柳谷(大), 船岡(聖)
 ▽二塁打 柳谷, 福田 (大) 聖)

【大館桂桜】		打数	安打	打点
(中)	石倉大翔	5	1	0
(捕)	小林廉	4	3	0
(投)	福田春輝	5	2	2
(二)	柳澤風也	5	1	0
(右)	柳谷運	5	3	3
(一)	山内佑真	3	1	1
(二)	石戸谷稔	3	0	0
(遊)	高清水稔	4	2	0
(左)	高橋誠河	3	0	0

【聖和学園】		打数	安打	打点
(遊)	佐藤大広	4	0	0
(二)	齋藤隼人	5	0	1
(三)	山内海聖	5	2	0
(中)	駒井志生	2	0	0
走中右	佐々木禪	1	0	0
(左)	船岡陽	4	3	0
(右)	石丸最強	2	0	0
打	高橋拓英	1	1	1
走	高橋瑛士	0	0	0
中	菊田晴空	0	0	0
(一)	大久保蓮	3	1	2
(捕)	沼田明日翔	3	0	0
(投)	阿部航大	2	0	0

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	三振	四球	死球	暴投	ノーアウト	失点	自責点			
福田春輝	32	148	9	0	7	0	3	0	8	3	1	0	4	3

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	三振	四球	死球	暴投	ノーアウト	失点	自責点			
阿部航大	37	128	9	0	13	0	2	0	3	1	1	0	6	4

【評】 ライトからレフト方向に強風が吹く中での試合は、大館桂桜が粘る聖和学園を振り切った。
 大館桂桜は初回、柳谷の3塁打で2点を先制、さらに3回にも4・5・6番の3連打で2点を追加し主導権を握った。
 聖和学園は1点差の8回、船岡の3塁打を足掛かりに同点に追いつく粘りを見せたが9回に勝ち越しを許した。
 大館桂桜の先発、福田は粘りの投球で148球完投。

第74回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第1日目 10月20日(水)

2回戦 仙台市民球場 1時間 45分
 八工大 南 2 0 0 0 2 3 0 0 0 7 0
 酒田南 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

【八】 打 安 点 盗 犠 四 三 残 失 併
 【八】 27 9 6 1 4 3 3 6 0 0
 【酒】 24 3 0 0 0 2 8 5 2 0
 (球) 水戸恭平 (一) 三浦 徹 (二) 菅原 幸 (三) 藤村一也 (7回コールド)
 【八】 廣野 二 葛西
 【酒】 田村、阿部勇 二 神原
 ▽暴投 田村1(酒) ▽捕逸 神原1(酒)
 ▽本塁打 なし
 ▽三塁打 館(八)
 ▽二塁打 なし 須藤、田村 (八)(酒)

【八工大一】		打数	安打	打点
(中)	須藤 廣尊	4	0	0
(二)	長谷地 輝	4	0	0
(遊)	砂 頼人	4	2	0
(捕)	葛西 凜	4	2	1
(一)	館 有 水	3	3	1
(右)	工藤 寛大	2	1	2
(二)	中田 聖弥	3	1	1
(投)	廣野 風雅	1	0	0
(左)	田中 志信	2	0	1

【酒田南】		打数	安打	打点
(二)	桐花 幸甫	3	0	0
(中)	黒川 琉唯	3	1	0
(遊)	西田 彰牙	3	0	0
(左)	甲 圭 佑	3	0	0
(右)投	阿部 勇翔	3	0	0
(投)右	田村 朋輝	2	1	0
走	植松 功大	0	0	0
(一)	細島 迅刀	2	0	0
(二)	須藤 仁	3	1	0
(捕)	神原 健人	2	0	0

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	被安打	被本塁打	犠打	三振	四球	死球	暴投	エラー	失点	自責点
廣野 風雅	24	102	7	0	3	0	0	8	1	1	0	0	0	0

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	被安打	被本塁打	犠打	三振	四球	死球	暴投	エラー	失点	自責点
田村 朋輝	20	102	5	0	8	0	4	0	3	0	1	0	7	4
阿部 勇翔	7	25	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【評】
 八工大は右腕廣野、酒田南は右腕田村の両エースの先発。八工大は1回表二死から3番砂の中前打と4番葛西の遊撃内野安打で1・2塁とし5番館の四球が暴投になる間に砂がホームインし先制した。さらに6番工藤の投手横へのバントヒットで2点目を加えた。続く4回にも館の右中間3塁打と工藤の四球、7番中田の3塁へのバントヒットで3点目、8番廣野の犠打と9番中田の犠打で4点目を奪い試合の主導権を握った。5回にはショートフライの落球と3塁手のエラーを足掛かりに葛西の中前打と館の右前打に工藤、中田の犠打を2つ絡めて3点を奪い、酒田南を突き放した。
 八工大の廣野は伸びのある直球を主体に8三振を奪う力投で、3塁を踏ませぬ散発3安打、7回コールド完封勝利で準々決勝進出を決めた。